

群馬大学医学部

医学科の教育について



群馬大学医学部医学科 人材育成の理念 (SESの理念)

医学科は、医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、**科学的知 (Science)**、**倫理 (Ethics)**、**技能 (Skill)** の3つの面 (SES) にわたって生涯自己研鑽を続けることができる学生の育成を目的とする。

SESの3つの面



Science

科学的知



Ethics

倫理



Skill

技能



科学的知 (Science) ・ 倫理 (Ethics) ・ 技能 (Skill) の3つの面 (SES) にわたって生涯自己研鑽を続ける医師を育成します

アドミッション・ポリシー

～このような人を求めています～

<教育の目標>

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることをふまえ、**科学的知 (Science)**、**倫理 (Ethics)**、**技能 (Skill)** の3つの面 (SES) にわたって自己研鑽に励むことができる人

本学科が求める学生像

1



豊かな感受性、奉仕の精神を備え、医師としてふさわしい資質を身に付けることを目指して、不断の努力を積み重ねられる人

2



医療、医学研究、医学教育もしくは医療行政などの分野において、社会に貢献することへの志と強い信念を持っている人

3



本学科の教育内容を理解するために必要な総合的基礎学力を十分に備えている人

群馬大学医学部医学科のアウトカム

卒業時に目指すべき学生像

医学・医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、

科学的知（Science）、倫理（Ethics）、技能（Skill）の3つの面にわたって生涯自己研鑽を続けることができる学生。

卒業時に身につけておくべき力

A

自己省察（せいさつ）力

B

知識の獲得と知識を応用する力

C

コミュニケーション能力

D

チーム医療の中で協働する力

E

基本的な総合診療能力

F

地域医療の向上に貢献する能力

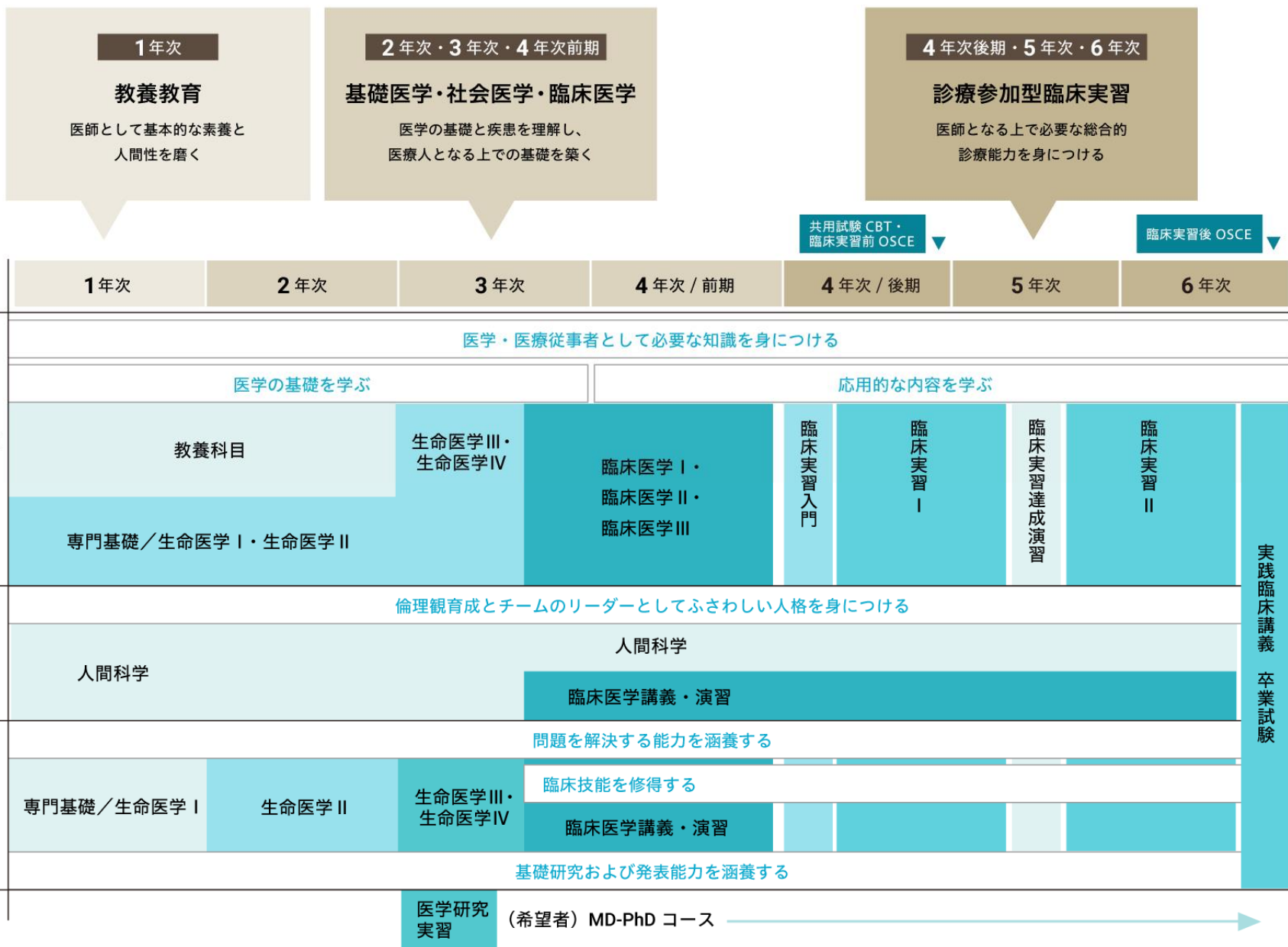
G

医学研究を遂行する能力

H

自己研鑽

6年間のカリキュラム



教育の充実（重点）



医療安全教育

患者安全と質改善を体系的に学ぶ

群馬大学医学部医学科では、全国に先駆けて医療安全教育に取り組んでいます。

患者安全や質改善の考え方やノンテクニカルスキルを体系的に学び、安全・安心な医療を実践できる医師の育成を目指しています。

文部科学省教育関係共同利用拠点として、医療安全教育の普及にも取り組んでいます。



多職種連携教育

多職種で学び、協働する力を育成

低学年時から、模擬症例演習や医療安全演習、臨地実習を通じて、専門職間の連携・協働に必要な能力を養成しています。

医学科、保健学科、高崎健康福祉大学薬学部などの学生が共に学ぶ授業もあり、チーム医療に必要な実践力を身につけます。



診療参加型臨床実習

実際の診療に参加しながら学ぶ

学生が医療チームの一員として診療に参加しながら学ぶ診療参加型臨床実習を重視しています。

附属病院だけでなく県内全域の医療機関で実習を実施し、5・6年次には170以上のプログラムから実習先を選択することができます。



人間理解や人との関わり方の教育

患者との信頼関係を築く力を養う

人間科学や対話を重視した教育を通じて、患者や家族の価値観を理解し、信頼関係を築く力を育成します。

医師として必要な倫理観やコミュニケーション能力を養い、患者中心の医療を実践できる人材を育てます。

特別プログラム①

～研究に興味がある学生へ～



MD-PhDコース・学生研究会

学生時代から研究に取り組み、
医学研究者を目指すプログラム

- 授業時間以外に研究室で研究活動を実施します。
- 学会発表や論文執筆に取り組む学生もいます。
- MD-PhDコースでは、大学院の授業科目を一部先取りで履修します。
- 卒業後に本学の大学院に進学した場合、一定の条件を満たせば、大学院を3年間で修了することも可能です。



学会での受賞（学生代表）

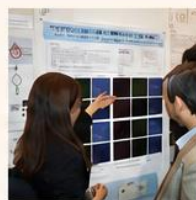
実績（平成29年度～令和5年度）		
論文発表件数	学会発表件数	計
84 件	56 件	140 件

※平成29年度～令和5年度の累計



メッセージ

研究への興味を早い段階から伸ばし、
医学研究を担う人材の育成を支援しています。



利根川プログラム

地域医療に関心のある
学生向け

- ✓ 地域医療を担う医師の育成を目指した実践的な教育プログラムです。
- ✓ 病院見学バスツアーを実施し、地域の医療現場を直接見学・体験します。
- ✓ 地域医療の課題を探究し、解決策を考える力を養います。
- ✓ 埼玉医科大学の学生とも交流し、意見交換を行いながら視野を広げます。



国際交流

海外の大学や医療機関との交流を通じて、
医学生ならではの国際経験を積むことができます。

- ✓ インドネシア、台湾、コロンビア等の大学と提携し、学生同士の交流を行っています。
- ✓ 交換留学プログラム等、海外留学プログラムも複数用意されています。
- ✓ 臨床実習プログラムも人気があり、医学生だからこそ参加できる海外での実習を経験できます。



特別プログラム②

～地域と世界へ広がる学び～



グローバルフロンティア リーダー（GFL）

国際的な視野を育む
全学プログラム

- ✓ 国際的な視野を持ち、広く国際社会に貢献し得る人材の養成を目指すプログラムです。
- ✓ 群馬大学の各学部から選抜されたGFL生たちが協力し合い、留学や講演企画、国際交流活動などに取り組みます。
- ✓ 入学後に説明会と募集を行います。



興味や将来の目標に合わせて、学生時代にしかできない学びや経験に挑戦できます。

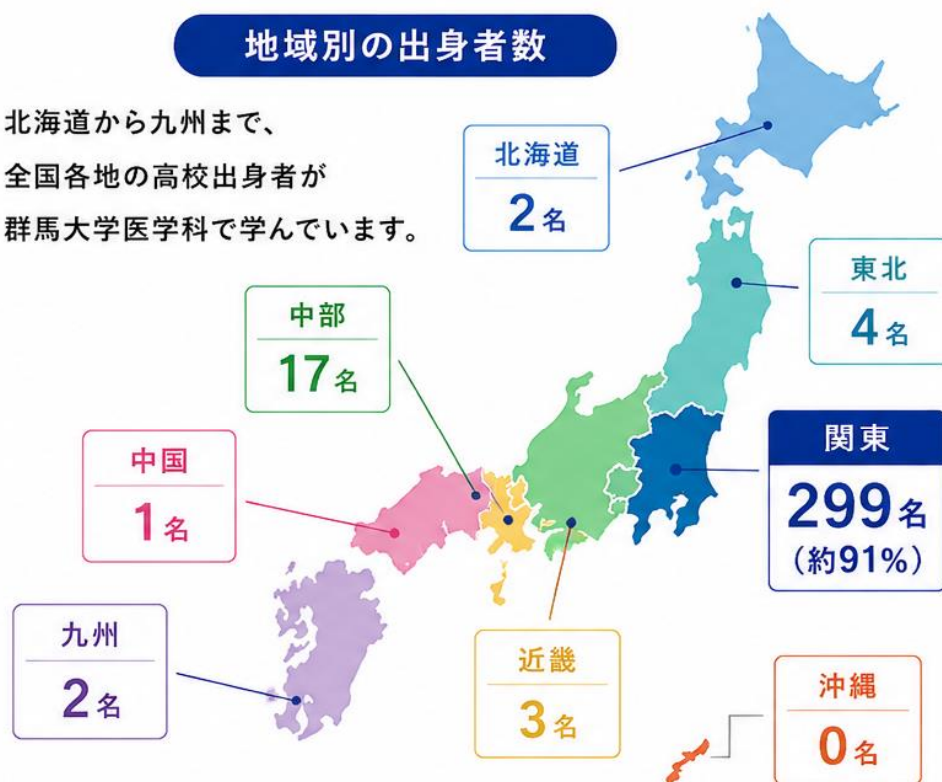


全国から学生が集まる群馬大学医学科

2024～2026年度 入学者（328名）の出身高校所在地

地域別の出身者数

北海道から九州まで、
全国各地の高校出身者が
群馬大学医学科で学んでいます。



主な出身都県（人数）

- 1 群馬県 103名
- 2 東京都 87名
- 3 埼玉県 50名
- 4 神奈川県 27名
- 5 千葉県 22名
- 6 栃木県 9名

※ 上記以外の都道府県からも入学者がいます。



群馬県を中心に、首都圏および全国各地から学生が入学しています。

多様な地域の仲間と共に学び、将来、全国で活躍できる医師を目指します。

入学者選抜の概要

——— 多様な資質・能力を評価する入試を実施しています ———

学校推薦型選抜

 各高等学校から5名まで推薦可能

37名

(一般枠 25名・地域医療枠 12名)

選抜方法



出願書類
(調査書・推薦書・適性資質調査書・志望理由書等)



小論文



面接



大学入学共通テスト (傾斜配点あり)

一般選抜 (前期日程)

73名

(一般枠 65名・地域医療枠 8名)

選抜方法



大学入学共通テスト (傾斜配点あり)



学力検査 (数学・理科)



小論文



面接



アドミッション・ポリシーに基づき、
学力に加えて主体性や適性などを総合的に評価します。

～群馬県×地域医療～地域医療枠

地域医療を通じて群馬県に貢献したいという医学生を求めています！

地域医療に携わる医師やメディカルスタッフとの交流を通じ、群馬の医療の魅力を学びながら、医師としての将来像を具体化してみませんか。

卒業生の主な所属診療科：外科15名、小児科11名、産婦人科7名、脳神経外科5名、救急科6名、総合診療科6名、内科34名など



専任医師による定期面談・キャリア相談



学生情報交換会



地域医療バスセミナー



地域医療体験セミナー



Event Seminar &c.

地域医療枠～在学中の活動と卒後の進路～



群馬県キャリア形成卒前支援プラン（在学中）

地域医療に携わる医師やメディカルスタッフとの交流を通じ、地域医療マインドを育てていきます。実際の医療現場を体感できるセミナーを多数開催しています。



「未来の自分」と出会う教育

R8 ぐんま総合診療医センター開設！

多様なフィールドと自律的成長

大学病院から地域の中核病院・診療所まで、自分らしい医師人生をデザイン。

早期キャリア教育プログラム

学生のうちから現場を知り、メンター医師の伴走で将来のキャリア設計を全力支援。

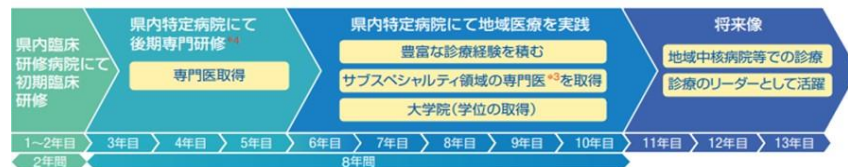
ジェネラリストとしての未来

高度な専門性と全体を俯瞰する知識を兼ね備えた「新時代の医師」を育成。



ぐんま地域医療養成キャリアパスと専門医（卒業後）

県内の特定病院に従事しながら、専門医取得が可能です



8年間のうち、4年間以上は「医師不足地域」の特定病院、または「特に不足する診療科」に勤務します。

(へき地治療拠点病院、また、へき地診療所に勤務する場合は3年以上)

※「医師不足地域」、「特に不足する診療科」は、将来、勤務することとなる時点の群馬県保健医療計画に明記されます。

基本領域（19診療科）で専門医が取得可能

